

◎第9回理事会(33.2.15)出席者:藤井会長,山本,岡本両副会長,末森専務理事ほか理事9名。協議事項:1)定例常議員会開催について。2)支部幹事長会議開催について。3)土木学会規則改正について。4)日本学術会議中央選挙管理委員会委員推薦について。5)宅地造成技術者講習会考査委員について。6)土木学会論文集講読料について。7)日本学術会議地震工学連絡委員会委員推薦について。8)岩盤(仮称)力学委員会設置計画について。9)会員入退会。10)その他。報告事項:1)会計報告。2)刊行物申込。3)委員会委員委嘱について。

a. 土木賞委員会:高畑技術賞主査海外出張のため後任委員に三島慶三氏(通産省)

b. 合成軌道橋設計方書研究委員会:川口輝夫委員死亡のため後任に河野通之氏(国鉄)

c. 吉田賞委員会

委員長 永田 年氏(東京電力)
副委員長 大石 重成氏(国鉄)

構造小委員会

委員長 横田 周平氏(清水建設)
委員 岡田 清氏(京大)
" 奥田 秋夫氏(都立大)
" 関分 正胤氏(東大)
" 田原 保二氏(日本構造橋梁)
" 友永 和夫氏(国鉄)
" 仁杉 敏氏(〃)
" 横道 英雄氏(北大)

材料小委員会

委員長 関分 正胤氏(東大)
委員 綾 亀一氏(大同コンクリート)
" 荒木 謙一氏(徳島大)
" 生出 久也氏(鹿島建設)
" 後藤 幸正氏(東北大)
" 田中 太郎氏(セメント協協)
" 谷藤 正三氏(建設省)
" 水野 高明氏(九大)
" 横田 周平氏(清水建設)

奨励金小委員会

委員長 永田 年氏(東京電力)
委員 小野竹之助氏(日大)
" 岡田 清氏(京大)
" 河野 通之氏(国鉄)
" 丸安 隆和氏(東大)
" 横道 英雄氏(北大)

d. 無筋コンクリート標準方書改訂小委員会

委員 木村 茂雄氏(運輸省)
" 赤塚 雄三氏(〃)
" 土田 秀郎氏(西松建設)
" 武川恵之助氏(清水建設)
" 野尻 陽一氏(鹿島建設)

◎各種委員会

(1) 第8回会誌編集委員会(38.1.8)出席者:八十島,堺正副委員長,ほか委員6名。議事:1)48巻3号の内容を決定。2)第二阪神,黒四ダム座談会について。3)土木賞推薦について。4)新規講座について。5)展望記事の拡充方法。6)その他。

(2) 第8回文献調査委員会(38.1.8)出席者:久野前委員長,千秋委員長,ほか委員11名。議事:1)48巻3号登載抄録の決定。2)委員会の活動について。3)文献カードについて。4)抄録の取扱いについて。5)新規委員の追加について。6)論文複写について。7)その他。

(3) 昭和37年度水理学研究の現況編集打合せ(38.1.9)出席者:関係者3名。議事:学会誌掲載の“昭和37年度水理学研究の現況”の編集について打合わせを行なった。

(4) 本州四国基礎に関する専門部会幹事会(38.1.10)出席者:(建設省)幹事7名,(国鉄)幹事3名。議事:1)基礎地盤調査について。2)次回専門部会の運営について。3)その他。

(5) 水理公式集改訂委員会,港湾および海岸部会(38.1.11)出席者:岩垣主査,ほか委員8名。議事:1)項目,公式,目次の検討。2)執筆担当者の決定。3)その他。

(6) コンクリート委員会幹事会(38.1.14)出席者:国分委員長,ほか幹事6名。議事:1)土木賞,吉田賞へのコンクリート委員会よりの推薦について。2)土木,建築におけるコンクリート用語統一について。3)その他。

(7) 水理公式集改訂委員会主査幹事会(38.1.14)出席者:横田委員長,ほか主査3名,幹事4名。議事:1)前回議事録の承認および項目の検討。2)執筆原稿の作業予定について。3)委員の追加。4)港湾部会の富永正照委員海外出張のため光易 恒(港湾技研)を幹事とする。5)その他。

(8) トンネル工学委員会設計小委員会幹事会(38.1.14)出席者:委員6名。議事:次回小委員会および本委員会提出資料の準備作業を行なった。

(9) 論文集編集委員会幹事会(38.1.16)出席者:丸安委員長,ほか幹事5名。議事:土木賞,吉田賞候補論文の推薦文について協議した。

(10) 耐震構造設計研究委員会幹事会打合せ(38.1.17)出席者:久保幹事長,ほか幹事5名。議事:1)次回幹事会提出資料の検討。2)今度報告書のとりま

とめ方法について。3)来年度委員会運営方針について。4)その他。

(11) 耐震構造設計研究委員会幹事会(38.1.21)出席者:委員4名,久保幹事長,ほか幹事13名。議事:1)37年度報告書の作成について。2)水中橋脚について。3)外国耐震規定について。4)その他。

(12) 第62回耐震工学委員会(38.1.21)出席者:那須委員長,ほか委員9名。議事:1)アメリカ水道局よりの会長宛文書について。2)国鉄委託,耐震構造設計委員会報告。3)地震工学国内シンポジウムプロシーディングス増刷について。4)国際会議の件。5)IAEEについて。6)地震工学トレーニングセンターについて。7)土木賞,吉田賞の候補推薦について。8)委員の交代について。9)その他。

(13) コンクリート委員会幹事会(38.1.21)出席者:国分委員長,ほか幹事5名。議事:リユクリート用語の統一につき打合わせを行なった。2)その他。

(14) トンネル工学委員会調査小委員会(38.1.22)出席者:委員10名。議事:1)トンネル工学標準方書調査編について打合わせを行なった。

(15) トンネル工学委員会設計小委員会(38.1.22)出席者:坂本主査,ほか,委員10名。議事:1)トンネル工学標準方書設計編につき打合わせを行なった。

(16) トンネル工学委員会施工小委員会(38.1.22)出席者:住友主査,ほか委員13名。議事:1)トンネル工学標準方書施工編につき打合わせを行なった。

(17) トンネル工学委員会(38.1.22)出席者:藤井委員長,ほか委員30名。議事:1)委員長挨拶。2)新委員の紹介。3)各小委員会進捗状況の報告。4)第2回トンネル工学シンポジウムの開催について。5)委員会運営資金について。6)その他。

(18) フライアッシュ小委員会(38.1.23)出席者:国分委員長,ほか委員19名,齋藤氏。議事:1)第16回委員会議事録の承認。2)長期試験用供試体の製造に関する調査。3)フライアッシュを使用したコンクリート構造物の中性化試験について。4)今後の共通試験の題目について。5)その他。

(19) 水理公式集改訂委員会下水道部会(38.1.25)出席者:久保主査,ほか委員18名。議事:1)経過報告。2)原稿の審議。3)水理委員会(上下水道関係)への連絡事項について。4)その他。

(20) 第2回衛生工学委員会(38.1.

26) 出席者：広瀬委員長，ほか委員 15 名。議事：1) 前回委員会および小委員会議事録の承認。2) 第 2 回水質汚濁会議開催について；a) 開催時期，開催地について，b) 会議運営方法について，c) 運営組織について，d) 他学協会への依頼について，e) 運営資金について，f) 論文募集について。3) 委員会，講演企画について。4) 次回委員会について。

(21) 吉田賞幹事会 (38.1.26) 出席者：幹事 4 名。議事：1) 昨年度の運営方法の説明。2) 本年度運営計画の検討。3) 本年度吉田賞および吉田研究奨励金候補応募者の調整。4) その他。

(22) 土木賞幹事会 (38.1.28) 出席者：幹事 3 名。議事：1) 本年度土木賞関係候補応募者の調整。2) 審査員 (案) の選定。3) その他。

(23) 第 9 回会誌編集委員会 (38.1.28) 出席者：八十島，堺正副委員長，ほか委員および幹事 15 名。議事：1) 投稿原稿の審査報告，および新規受付原稿審査委員の決定。2) 原稿依頼状況。3) 48 巻 4 号の会誌編集について。4) 展望記事の拡充について。5) 新規講座について。6) 座談会，対談会について。7) その他。

(24) 第 3 回コンクリート構造急進施工小委員会 (38.1.28) 出席者：国分委員長，杉木主査ほか委員 12 名。関係者 2 名。議事：1) 前回議事録の承認。2) 提出資料の検討。3) その他。4) 次回委員会について。

(25) 耐震構造設計研究委員会幹事会打合せ (38.1.30) 出席者：久保幹事長，ほか幹事 5 名。議事：1) 昭和 37 年度報告書，目次，項目，担当幹事について。2) その他。

(26) 第 8 回原子力土木技術委員会 (38.1.30) 出席者：左合委員長，ほか委員 7 名。議事：1) 第 1 回原子力総合シンポジウムについて。2) 研究委託について。3) その他。

(27) 第 2 回学術講演連絡委員会 (38.1.31) 出席者：林委員長，ほか委員 8 名。議事：1) 幹事の選任。2) 中部支部と共催の講習会について。3) 第 7 回材料試験連合講演会運営委員 2 名の選任について。4) 夏期講習会について。5) その他。

(28) 第 1 回吉田賞委員会 (38.1.31) 出席者：委員 15 名，幹事 4 名，議事：1) 会長挨拶。2) 委員長，副委員長の選出。3) 委員会規程および内規の検討。4) 応募状況および追加推薦について。5) 小委員会構成と審議方法。6) 今後の運営方針について。7) その他。

(29) 50 周年記念事業実行委員会 (38.2.1) 出席者：委員 8 名。議事：1) 記念事業行程について。2) その他。

(30) トンネル工学委員会施工小委員会 (38.2.4) 出席者：住友主査，ほか委員 8 名。議事：1) 型わくについて条文内容を検討。2) 次回小委員会について。3) その他。

(31) 第 4 回出版企画委員会 (38.2.4) 出席者：佐藤委員長，ほか委員 6 名，奥村幹事長，竹原幹事。議事：1) 前回幹事会報告。2) 工事誌類の出版方針について。3) 第 2 回委員長会議の開催について。4) 高校むけ実験指導書の出版について。5) PR 委員会の設置について。6) 土木工学用語集の出版に関して。7) その他。

(32) 土木賞主査幹事会 (38.2.4) 出席者：国分学術賞主査，高畑技術賞主査ほか幹事 3 名。議事：1) 土木賞候補応募状況について。2) 審査員 (案) について。2) 運営方針について。4) 高畑主査後任について。5) その他。

(33) トンネル工学委員会調査小委員会 (38.2.5) 出席者：委員 11 名。議事：1) 前回審議内容について。2) 条文逐条審議。3) 追加項目について。4) その他。

(34) 合成桁鉄道橋設計示方書に関する研究委員会 (38.2.5) 出席者：幹事 4 名。議事：次回委員会資料として合成桁鉄道橋設計示方書の内容につき検討を行った。

(35) 第 3 回無筋コンクリート標準示方書改訂小委員会 (38.2.5) 出席者：国分委員長，ほか委員 25 名。議事：1) 前回議事録の承認。2) プレパックドコンクリートに関する分科会の設置，構成，運営方針について。3) 型わくおよび支保工に関する分科会の設置，構成，運営方針について。4) 割り増し係数に関する分科会の設置，構成，運営方針について。5) 骨材にふくまれる粘土塊および軟石量に関する研究グループの設置。7) 軽量骨材および軽量コンクリート研究グループの設置。8) 報告，その他。

(36) 第 5 回論文集各部会 (38.2.6) 出席者：(第 1 部会) 委員 6 名，(第 2 部会) 吉川部会長，ほか委員 3 名，(第 3 部会) 委員 2 名，(第 4 部会) 丸安委員長ほか委員 5 名，西脇幹事。議事：1) 各部会ごとに審査中原稿の審査報告。2) 前回部会長報告。3) 委員交代について。4) 論文集購読料について。5) その他。

(37) 論文集臨時部会長会 (38.2.6) 出席者：丸安委員長，吉川部会長，ほか各

部会幹事 4 名，末森，奥村両理事。議事：理事会より話のあった論文集の購読料について，末森，奥村両理事より説明があり，それを中心に協議し，部会へはかった上，理事会へ回答することにした。

(38) 土木賞幹事会 (38.2.6) 出席者：幹事 3 名。議事：1) 主査幹事会決定事項の整理。2) 今後の方針について。3) その他。

(39) 第 9 回会誌編集小委員会 (38.2.8) 出席者：八十島，堺正副委員長，ほか委員 5 名。議事：1) 展望記事拡充につき数氏にとりあえず依頼。2) 公共事業予算については企画庁と経済学者に依頼。3) スペース シビル エンジニアリングに関しては座談会の形でまとめる。4) 新規講座について。5) 各種座談会，対談会の企画に関して。6) その他。

(40) 第 9 回文献調査委員会 (38.2.8) 出席者：千秋委員長，ほか委員 9 名。議事：1) 48 巻 4 号登載抄録の決定。2) 文献調査委員会の活動について；a) 国際会議論文リストの調査，b) 研究活動の展望，問題点の解説に関する活動について。3) 新規委員の追加について。4) その他。5) 次回委員会の件。

(41) 高校土木教育研究会第 6 回幹事会 (38.2.9) 出席者：八十島幹事長，ほか幹事 9 名。議事：1) 指導書 (コンクリート，土質) 編集について。2) スライド，映画製作について。3) その他。

(42) 第 2 回衛生工学委員会小委員会 (38.2.9) 出席者：広瀬委員長，ほか委員 8 名。議事：1) 第 2 回委員会議事録の承認。2) 第 2 回水質汚濁会議について；a) アブストラクトの公募，b) 協力方申入団体の選定，c) 運営資金について，d) 論文審査員の選考，e) 仮事務局設置，f) 募金方法について。

(43) トンネル工学委員会設計小委員会幹事会 (38.2.9) 出席者：坂本主査，ほか委員 9 名。議事：次回小委員会提出資料の調整を行なった。

(44) 吉田賞幹事会 (38.2.11) 出席者：幹事 4 名。議事：1) 運営予算について。2) 前回委員会議事録について。3) 審査資料の調整。4) その他。

(45) トンネル工学委員会設計小委員会 (38.2.12) 出席者：委員 11 名。議事：1) トンネル工学標準示方書設計編につき 1 条～19 条を逐条審議。2) 次回幹事会，小委員会について。3) その他。

(46) プレストレストコンクリート委員会鋼材分科会 (38.2.13) 出席者：富田主査，ほか委員 8 名。議事：1) 鋼線ならびにより線の弾性係数について。2)

次回分科会について。3) その他。

支 部 だ よ り

◎東北支部

(1) 役員会 (38. 2.25, 仙台市セントラル) 出席者: 顧問 3名, 常議員 4名, 商議員 6名, 佐々木幹事長, ほか幹事 10名。議事: 1) 幹事長会議開催の結果について。2) 昭和 37 年度技術研究発表会開催について。3) 技術講座開催について。4) 1,2,3 月の行事について。5) その他, 議事終了後懇親会を開催しいろいろ建設的な話し合いを行なった。

◎関西支部

(1) 技術講座 2号 (水面形計算法) (38.1.21~22, 大阪建設会館)

講 師: 京都大学助教授

工博 岩佐 義朗

参加者: 39名 参加費 150円

(2) 学生のための映画会 (第 4 回)

(38.2.9, 京都大学工業教員養成所)

上映映画: 黒部峡谷, 地底の凱歌, 建設の機械化, 道路編, 敷地編, 埋立編

参加者: 150名

(3) 学生のための映画会 (第 5 回)

(38.2.11, 神戸大学)

上映映画: 摩耶埠頭建設の記録 第 1 編, 建設進む名神高速道路, 脇谷橋, 合成桁橋実験, ステンレス鋼管

参加者: 60名

(4) 第 3 回商議員会

(38.2.15, 土木学会関西支部事務局)

出席者: 商議員 15名, 常議員 1名, 米谷幹事長, ほか幹事 8名

(5) 第 10 回幹事会

(38.2.15, 土木学会関西支部事務局)

出席者: 米谷幹事長, ほか幹事 9名

◎西部支部

(1) 第 7 回運営調査会 (38.2.6, 福岡市天神ビル) 出席者: 松尾支部長, ほか 8名。議事: 1) 昭和 38 年度支部長委嘱を決定 大串満馬氏(建設省九州地方建設局長)。2) 本年度支部総会開催を決定, 3月 26日・福岡市

(2) 研究発表会 (38.2.19, 熊本市建設会館)

発表題目 24, 発表者 24名, 参加者 146名

第 1 会場 12 題, 第 2 会場 12 題

4 月を迎えて土木学会も新予算のもとに第一歩をふみだすわけです。事務局は現在末森専務理事ほか 24 名の職員がそれぞれの仕事を分担し, 学会誌・論文集の発行はもとより, 刊行物の発行・50 に近い各種委員会の事務処理, 委託研究の事務管理, 総会・講習会・シンポジウムなどの事務, 会費事務, 書籍の販売管理, 会計事務などを行なっていますが, ちょうど今は 37 年度の決算, 38 年度予算編成などで多忙をきわめております。

われわれ職員は常に 15 500 名近くの会員の皆さんがより気軽に学会をご利用下さるようお願いしております。学会も明年には 50 周年を迎え, 50 周年記念事業委員会もすでに常置され, いろいろな記念事業が企画されています。学会が 50 周年を機会により発展するために会員の皆様のご協力を切望しております。学会の予

算も 38 年度は 1 億円になり, いろいろの事業を行なうわけですが, これらの事業計画を完全に遂行するためには予定の収入が得られてはじめて達成されるわけですので 38 年度会費および 37 年度会費をまだおさめておられない方はぜひこの機会にお払込み下さるようお願いいたします。なお会費は下記のとおりです。

正 員	学生員	特 別 員					
		特 級	1 級				2 級
			A	B	C	D	
1 800 円	900 円	10 万円	7 万円	4 万円	2 万円	1 万円	5 000 円

■ ニュース欄の充実に関して ■ ローカル・ニュース, 工事の中間報告, 取材についての御意見をお寄せ下さい。お忙しくて書けないといわれる方は「どこで, どういう工法で, どういう工事をやっている」という程度でもお知らせ下さいれば取り上げます。

昭 和 37 年 度 土 木 学 会 誌 編 集 委 員

委 員 長	八十島 義之助		副委員長	櫻 毅	(五十音順)							
委 員	伊 藤 謙 一	石 井 文 夫	江 島 淳	大 山 忠 一	加 藤 信 夫	片 山 祐 一	後 藤 績 一	石 佐 藤 尚 徳	斎 藤 俊 彦	六 千 秋 信 一	妹 尾 隆 之	奈 良 部 俊 雄
	中 川 玲 春	中 沢 式 仁	永 田 二 三 男	新 谷 洋 二	針 ヶ 谷 信 信	藤 井 喬 男	南 部 繁 春	森 崎 麟	森 本 茂 男	渡 辺 隆	委員兼幹事	松 本 成 男
地方委員	(北海道支部)	(東北支部)	(中部支部)	(関西支部)	(中部支部)	(西部支部)						
	岸 元 北 海	松 本 順 一 郎	酒 井 清 太 郎	伊 藤 富 雄	長 尾 満	荒 木 正 夫						高 橋 健 二
		岩 崎 敏 次	増 田 重 臣	岡 田								

会員入退会について(昭和 38. 2. 1~2.28)

1. 入会	110名(正 69 学 14 特 1.B 3 特 1.C 7 特 1.D 17)
2. 復活	3名(正)
3. 退会	11名(正 1 特 1.D 1)
4. 死亡	2名(正)
5. 転格	6名 特 1.D → 特 1.B 1 特 1.D → 特 1.C 4 特 1.C → 特 1.D 1

特別員の入退会

○入会

昭和 38. 2.11	特 1.B	大成建設 KK 札幌支店	札幌市南一条西一丁目
"	"	西松建設 KK 札幌営業所	札幌市北六条西十四丁目
"	"	飛島土木 KK 札幌支店	札幌市北一条西十九丁目一番地
"	2.20 特 1.C	大成道路 KK 北海道支社	札幌市南一条西一丁目四番地 有本ビル内
"	"	KK 岸田組	旭川市宮下通八丁目左八号
"	"	塩見設計測量工務所	大阪市大淀区大仁本町一丁目十三番地
"	"	王子製紙 KK 苫小牧工場	苫小牧市王子町三十一番地ノ一
"	"	岩倉組土建 KK	苫小牧市木場町十一番地
"	"	株木建設 KK 札幌営業所	札幌市北三条東五丁目
"	"	神工業 KK	室蘭市東町四六
"	2. 5 特 1.D	北海道菱和自動車 KK	札幌市豊平三条十三丁目
"	2. 8	KK 日本港湾コンサルタント	東京都渋谷区神宮通一丁目十五番地
"	2.11	KK 草別組	札幌市南三条西十三丁目
"	"	KK 浅沼組札幌営業所	札幌市南十一条西七丁目
"	"	岡本興業 KK	札幌市南十条西十一丁目
"	"	北海道鋼機 KK	札幌市白石町本通六四六番地
"	"	北海道日野自動車 KK	札幌市円山北町二九四番地
"	2.18	尼崎コークス工業 KK	尼崎市大浜町二丁目二十三番地
"	2.20	不二建設 KK	滝川市字花月町十五番地
"	"	KK 釧路製作所釧路工場	釧路市川北町九番地
"	"	明治建設興業 KK 札幌支店	札幌市南三条西十二丁目
"	"	日本ビューム管 KK 札幌営業所	札幌市大通西四丁目(秋銀ビル)
"	"	宮永建設 KK	北海道石狩郡当別町字対雁通一一八番地
"	"	KK 桑沢商店	札幌市北三条西二丁目一番地
"	2.26	川田工業 KK 札幌出張所	札幌市北三条西二丁目六番地 富山会館ビル内
"	"	北海道ふそう自動車 KK	札幌市白石町中央五一〇番地
"	"	KK 佐々木組	北海道岩内町大浜七〇

○退会

昭和 38. 1.14	特 1.D	八幡製鉄 KK 堺製鉄所	堺市八幡町一
-------------	-------	--------------	--------

○転格

昭和 38. 2.11	特 1.D → 特 1.B	KK 地崎組	札幌市南四条西七丁目六番地
"	" → 特 1.C	KK 田中組	札幌市北三条西十三丁目
"	" → "	KK 森川組	函館市海岸町一三八
"	" → "	北海道開発コンサル タント KK	札幌市北三条西三丁目 スノー会館五階
"	2.28	KK 佐々木組	北海道岩内郡岩内町大浜七〇
"	2.13 特 1.C → 特 1.D	山陽電気鉄道 KK	神戸市長田区御屋敷通三丁目二番地

会員現在数(昭和 38. 2. 28 現在)

名誉	正員	学生員	賛助	特級	特 1.A	特 1.B	特 1.C	特 1.D	特 2	計	(増)
45	13 482	1 532	30	16	16	31	175	268	23	15 618	(100)

正員	鈴木坂鉄君	死亡年月不明
"	田中敬親君	KK 間組常務取締役営業部長 昭和 38. 2.14 死去 61才

昭和 38 年 4 月 10 日印刷

昭和 38 年 4 月 15 日発行

土木学会誌 第 48 巻 第 4 号

印刷者 大沼正吉

発所 株式会社技報堂

東京都港区赤坂溜池 5 番地

発行者 末森猛雄

発行所 社団法人土木学会

東京都新宿区四谷一丁目

定価 200 円(送料 20 円)

振替 東京 16828 番

電話 (351) 5130・5138・5139 番

土木施工データブック

日本大学教授 成瀬勝武 建設省都市局長 谷藤正三
 工学博士 鹿島建設KK 監修
 早稲田大学教授 沼田政矩 専務取締役 種谷実
 工学博士 工学博士

B5判 1,000頁 函入総クロス 極上製ビニールカバー付 豪華版 8ポイント横組
 本文：コーティングペーパー 90kg 使用
 図版・写真版 2,000個以上

本書は、躍進途上にあるわが国建設業界の新しい情勢に即応できるよう、最新・最高の工法の実際を余すところなく収め、2,000個以上の図版・写真版を駆使して解明、作業現場の必携データをもれなく収録して現場活用に直結させた土木施工の一大エンスイクロペディア!

定価 4,800円 (〒160円)
 特価 4,500円 (38年4月末日まで)

●主要項目名及び代表執筆者●

1. 計画測量・工事測量 (千葉忠次)
2. 仮施設 (藤田圭一)
3. 土工・土木機械 (伊丹康夫)
4. 地盤改良工法 (瀬古新助)
5. 基礎工法 (中島武・綾亀一・稲葉勝臣・鈴木製吉・吉田忠一・森沢勇・上ノ土実・三木森夫・齊藤外吉・内田弘四・堀越常文・岡本東一郎・志岡秀雄)
6. グラウティンク (吉越盛次・松本勇)
7. コンクリート・鉄筋コンクリート工・型枠工 (三浦一郎)
8. プレキャストコンクリート工 (高橋敦夫)
9. プレストレストコンクリート工 (清野茂次)
10. 鋼橋・鋼構造物の製作・架設 (成瀬勝武)
11. 電気防食法 (中川雅夫)
12. 道路工事 (藤森謙一)
13. 軌条布設・保線工事 (伊地知堅一)
14. 地下鉄工事 (中島誠也)
15. 河川工事 (坂野重信・青木庚夫)
16. 砂防工事 (大石博愛)
17. 港湾・海岸工事 (新妻幸雄)
18. ゲム・発電水力工事 (吉越盛次)
19. トンネル工事 (加納侯二)
20. 上水道工事 (扇田彦一)
21. 下水道工事 (野中八郎)
22. 防水工 (山崎慎二)
23. 工事管理 (佐用泰司)
24. 付録 (成瀬勝武)

◇ 特 色 ◇

1. 斯界最高のスタッフ60数氏の協力執筆。
2. 工事の計画・見積・施工に関する現場の必須事項を図面・図表・数表を中心に具体的に示した。
3. 最新最高の工法・施工例、未発表のデータを収録、なお各分野の示方・仕様・規格も収録した。
4. 見てすぐ理解できるよう 2,000個以上の明解な図版・写真版を挿入した。
5. 使用に便利のように各項目を頁単位に編集した。
6. 姉妹書として併用できるよう、設計・施工を表裏一体的に関連づけた。

土木設計データブック 好評第10版 価 4,000円

森北出版株式会社
 東京・神田・小川町3の10
 振替東京34757 電(291)2616

新しい基礎工法の歩掛と実績

首都高速道路公団理事 中島 武 編
 日本国有鉄道常務理事 瀧山 養

B.5判上製 330頁 定価1900円 千100円

■ 本書の内容

各新しい基礎工法について
 1. 歩掛ならびに経費の実績
 2. 積算例
 3. 実施例 (載荷試験、横抵抗試験 地質柱状図、N値等も記載)
 等について詳述し、設計・積算・施工を不離一体のものとして内容を統一した画期的な技術書

■ 本書の特色……本書を研究することによって

1. 各種基礎工法の設計が可能
2. 各種基礎工法の見積り可能
3. 各種基礎工法の機械の選定が可能
4. 基礎工事の施工が計画的にできる

増補版「新しい基礎工法」 中島 武編 定価 1500円 千100円 残部僅少御申込み下さい

近代図書株式会社

東京都千代田区神田神保町1の35
 電話 東京(201)1040・振替東京23801